

# 第3次看護職定着・確保対策推進計画の概要

## 現状と課題

- 急速な高齢化や疾病構造の変化に伴う医療依存度の高い患者の増加等により看護職の需要数が増加
- 看護職の需要数の増加や離職等により、慢性的な看護職不足が続く
- 看護師等学校養成所の入学者定員数は増加が見込まれるが、18歳人口は減少
- 看護職の確保は県内就業率を上げることが課題
- 看護職の離職率の改善のために、働き続けられる環境づくりの推進

## 目標

質の高い医療・看護を提供するため  
看護職が働き続けられる職場づくりの推進

## 対策

### 1. 数値目標

	設定指標	現状 (直近値)	(平成 27 年度)
働き続けられる職場づくりへの支援	1. 病院勤務の常勤新卒看護職の離職率	8.8%	8.4%
	2. 病院勤務の全常勤看護職の離職率	11.1%	10.8%
	3. ワーク・ライフ・バランスの推進強化 (1) 複数の多様な勤務形態導入対策に取り組む施設数	37.2%	40.0%
	(2) 複数の超過労働を減らす対応策に取り組む施設数	80.2%	90.0%
	4. 専門家によるメンタルヘルス相談体制導入の施設数	27.9%	30.0%
質の高い医療・看護の提供	5. 医療安全管理者研修会修了看護職が在籍している施設数	82.6%	90.0%
	6. 看護協会研修受講者の在籍施設数	227 施設	227 施設以上
看護職の確保対策の推進	7. 看護学生の県内就業率	60.1%	61.0%
	8. ふれあい看護体験者数	501 人	501 人以上
	9. 未就業看護職員の就業率	29.3%	30.0%以上

### 2. 施策の柱

(1) 働き続けられる職場づくりへの支援 (2) 質の高い医療・看護の提供 (3) 看護職の確保対策の推進

### 3. 計画期間

平成 25 年度～平成 27 年度(3 年間)

### 4. 推進組織

千葉県看護職定着確保対策協議会

### 5. 施策体系

